

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 6 月 8 日 (2017.6.8)

【公表番号】特表 2016-517680 (P2016-517680A)

【公表日】平成 28 年 6 月 16 日 (2016.6.16)

【年通号数】公開・登録公報 2016-036

【出願番号】特願 2016-504323 (P2016-504323)

【国際特許分類】

H 0 4 L 7/00 (2006.01)

H 0 4 L 29/00 (2006.01)

H 0 4 L 12/891 (2013.01)

H 0 4 L 12/953 (2013.01)

【F I】

H 0 4 L 7/00 5 0 0

H 0 4 L 13/00 S

H 0 4 L 12/891

H 0 4 L 12/953

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 29 年 4 月 19 日 (2017.4.19)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 9】

式 (1) : 補正済みタイムスタンプ = タイムスタンプ + $\frac{\text{レーンのフィルレベル} - \text{基準フィルレベル}}{\text{クロックサイクルの周波数}}$

一実施形態においては、補正論理モジュール 118 は、計算に一貫性が得られ得るように、すべての値を共通の単位に変換してもよい。たとえば、レーンのフィルレベルおよび基準フィルレベルは、ビット数であってもよい。補正論理モジュール 118 は、クロックサイクル毎の既知のビット数およびクロックサイクルの周波数に基づいて、フィルレベルおよび基準レベルのビット数をクロックサイクルまたはナノ秒の単位に変換してもよい。たとえば、回路 100 が 66 ビット / クロックサイクルを読み出し、回路 100 が 1 ナノ秒当たり 2.1 クロックサイクルを有する場合、クロックサイクルまたはナノ秒のいずれかの点から補正済みタイムスタンプが計算され得る。